



かふえで Cafe de 村長 ~明日のとうかいを村長と語ろう~

“子育てしやすいまち”って、どんなまち？

山田村長を交えて、村の将来を担う若い世代の方々の思いや考えを語り合う「Cafe de 村長」。今回初となるこの催しは、カフェのようなリラックスした雰囲気の中で、それぞれの思いを自由に話してもらうことで、今後のまちづくりのヒントにしたいとの思いから企画されたものです(9月17日開催)。

今回のテーマは「子育てしやすいまちづくり」。村内在住・在勤の子育て世代を中心とする参加者(23人)が、子育てをする中で感じる課題や改善策等について、意見交換を行いました。今回は、その内容の一部をご紹介します。

【問い合わせ】広報広聴課秘書広聴担当(☎282-1711 内線1302)



村長▼村で何かを検討するとき、皆さんからの声を聴いておくと、非常に参考になるので、できる限りいろいろな話を聴きたいと思っています。

今後の東海村が、今以上に魅力ある村になるためには、やはり子育て支援が重要になってきます。村にもっと魅力を持たせ、将来に希望が持てるまちづくりをし、皆さんの声に応えていけるようにしていきたいと考えています。

共働きママたちの声

●環境がそろわないと、働けないかも…

共働きで帰宅が遅いため、学童へのお迎えは親にお願いして、子どもの面倒を見てもらっています。親の協力等、環境がそろわないと(母親が)働き続けることは難しいですね…。



●スムーズに保育所に入れなかったら…

子どもが風邪をひいても連続では休みづらいため、家族に面倒を見てもらっています。家族等の協力があってはじめて、仕事との両立ができていると感じています。第2子も欲しいですが、スムーズに保育所に入れなかったら、また周囲の方に迷惑を掛けてしまうかも…と思うと躊躇してしまいます。



こんなことで困っています…

●医療機関や病児保育の充実を…

村内の病院の診察時間が短く、仕事を終えてからでは診てもらうことができません。医療機関や病児保育を充実させて欲しいです。

村長▼総合病院は、東海村の人口規模では難しいと思うので、まずは村立東海病院を充実させたいと考えています。

●子どもが気軽に遊びに行ける場所があれば…

地区によっては公園が少ないところもあり、子どもが気軽に遊べる場所が少ないと思います。各学区に、“そこに行けば誰かがいる”ような遊び場があれば良いのですが…。

東海村のここが良い！

●地域とのつながりが強い！

東海村は地域との関わりが密で、地域の活動を通して、地元のおじいさん・おばあさんに子どもたちを育ててもらったという気がします。

地域の方が親切で、よく子どもの面倒を見てもらい、親戚のような付き合いをしていました。地域の方とのつながり強いところが東海村の良いところだと思います。



●アレルギーのある子どもへの対応が…

子どもに食物アレルギーがあるため、なかなか保育所に入れません。それに、アレルギー専門の相談窓口があれば良いのですが…。アレルギーのある子の子育てを経験した方の話を聞いたり、悩みを相談したりできる場所が欲しいです。

村長▼既存の保育園にその機能を付けることは難しいため、医療機関と連携した新たな病児保育等への対応を検討したいと思います。

●働きたくても保育所に入れない…なぜ入所不可？

毎月入所不可の通知が届くのですが、理由等が書かれていれば納得できると思います。他県に住んでいたときは、申し込む際に、(優先順位を表す)点数が示されており、それを把握した上で申し込んでいるため、入所不可の通知が来ても納得できました。村でも、そこを「見える化」してもらえれば違うと思います。



村長▼役場は、やろうとしていることに関してはどんどん情報を出していますが、住民が求めている情報とギャップがあるように感じています。情報の出し方については、他市町村の取り組みも参考にしながら検討したいと思います。

子育てを支援するこんな場所・サポートがあれば！

●おじいさん・おばあさんたちの知恵

子育てを終えた方々の力や知恵等を借りられるよう、おじいさんやおばあさんたちと、現在子育て中の方々との意見交換の場があれば良いと思います。

●子育てをサポートする地域の力！

子どもがまだ小さかったころ、子育てサポーターなど、少しの時間でも子どもを見てもらえることはとてもありがたかったです。子育てが一段落したら、今度は自分がサポーターになりたいと思います。

●三世代が交流できるスペースを！

常に三世代が交流できるスペースがあれば良いですね。例えば、カフェのような場所で、若い方からお年寄りまで自分が手作りしたものを販売できるスペースがあったり、手作りする人がミニ教室を開いたり、ものづくりを通して世代間の交流ができるのも良いと思います。日立市の「さくらカフェ」という施設には、一時保育もあり、子どもを預けながらお母さん方も催しに参加できているようです。料理教室や漬物教室等、皆さんそれぞれ得意なことがあると思うので、生かせる場があれば良いと思います。





子育てを地域活動の面からサポートしたい！

●子どもたちが楽しく暮らしていける環境をつくりたい！

今、地区の方々と一緒に、新しい形で子どもたちとの関わり方を始めるための活動をしています。有志で集まり、今年の夏、真崎コミュニティセンターに子どもたちを集めて、器や箸を作りながら、流しそうめんを実施しました。今後も、地域が子どもにスポットを当て、子どもと一緒に取り組めるようなお祭りなどをやろうと思っています。



将来、子どもたちが、私たちが今やっているようなことをしてくれたら良いと思います。子どもたちが楽しく暮らしていける環境をつくりたいと思い、地域の中で活動しています。

●もっと三世代交流の機会をつくりたい！

地域で三世代交流イベントなどを行うときに、「やりたい！」という声はあっても、それをどのように実現するか、どうやって人を集めるかなど、具体的な動き方や役割などがシステム化されていないため、「やりたい！」という声だけで終わってしまうことがあります。イベントを考えたら、それを地域の皆さんの力(さまざまなノウハウなど)で、きちんと事業にしていけるような仕組みを考えていく必要があります。親が楽しんで取り組んでいる姿を見せることが、子どもたちにとっても大切だと思います。

“子育てしやすいまち”って、どんなまち？

●もっとお母さん方が輝ける場を！

医療費の無料化等、金銭面の補助も大切ですが、お母さん方が楽しく過ごせるような環境が、子育てしやすいまちづくりにつながると思います。

例えば、お母さん方が気軽に集って話ができる(カフェのような)場所が、村内には少ないように感じます。趣味や特技を持っているお母さんも多いと思うので、自分の作品を発表したり、販売して収入につなげたりできる場があれば、育児中のお母さん方も他に輝ける場ができるのではないのでしょうか。また、そこで新しい交流



なるほど

が生まれて意見交換をすることで、子育てにも生かせるのではないかと思います。



村長▼皆様のご意見、大変参考になりました。さまざまな課題があると思いますが、住民の皆さんで解決できることは、まずは皆さんに動いてもらい、それでも解決できないことは村でも支援したいと思います。村でもより良い解決方法を検討していきますが、“他ではこんなことをやっている”など、他市町村での事例等も含めて、皆さんからもいろいろな情報をいただければ、東海村でもできるかどうか検討できます。お互いに情報を共有して、アイデアを出し合い、住みやすいまちをつくっていきましょう。

●お母さん方の声を大切に！

子育てには、やはりお母さんが中心となっている部分も多いため、そのお母さんが生活しやすく、子育てしやすいと思えるまちづくりを進めていけば、人口も増えてくるのではないのでしょうか。女性の意見にもっと耳を傾けることも大切なのかもしれません。

子どもは外で遊ぶのが一番！

